

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
世界遺産とユネスコの教育		全教諭	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年10月28日(日)	80人	坂井 秀弥(奈良大学・教授) 西山 要一(奈良大学・名誉教授) 中澤 静男(奈良教育大学・准教授) 田淵 五十生(奈良教育大学・名誉教授)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
日本に世界遺産が20サイトあるが、そのうち3件が奈良県に集中している。世界遺産の持つ意味を「世界遺産条約」に照らし合せて理解するとともに、どのような世界遺産が存在し、現在どのような問題が生じているのかなど、世界遺産を巡る諸問題を多角的に考えてみたい。また、近年の上滑りな「世界遺産ブーム」について批判的に検討したい。さらに、ユネスコが提唱する世界遺産教育についても紹介したい。世界遺産は単に観光資源だけでなく、豊かな教育資源に転化できる経緯について理解を深めたい。				
<b>【小テーマ①】 世界遺産と日本の文化財保護制度</b>			1. 5H	(担当講師:坂井 秀弥)
講習形態	講義形式			
講習内容	日本では世界遺産が続々と誕生して話題になっている。その背景には地方自治体や国の地域・観光振興政策がある。地域住民が地域の歴史・文化を理解し、アイデンティティーの拠り所とすることは重要であるが、遺産の確実な保護も不可欠である。この授業では、世界遺産の制度と現状・課題のほか、日本の文化財保護制度との関連、文化財を活かしたまちづくり、市民・住民や学校教育の役割について学ぶ。			
到達目標・確認指標	世界文化遺産の仕組みと現状・課題を理解し、日本における歴史を活かしたまちづくりのあり方について理解する。			
キーワード	地域観光振興 まちづくり 文化財保護法 市民・専門家・行政の三位一体			
<b>【小テーマ②】 世界遺産を巡る状況と保存問題―「危機遺産」、「負の遺産」を中心にして</b>			1. 5H	(担当講師:西山 要一)
講習形態	講義形式			
講習内容	戦争・災害・開発などにより破壊され、また損傷の恐れのある「危機にさらされている世界遺産」の現状と保存・修復を紹介し、世界遺産の保護・継承の重要性を認識する。また、戦争や人種差別に係る「負の遺産」を取り上げ、世界遺産が民族和解や平和の構築に寄与することを解く。			
到達目標・確認指標	世界遺産が、優れた人類の文化、貴重な自然の遺産であるとともに、保護し次世代に継承することの大切さを認識する。			
キーワード	危機遺産 負の遺産 保存・修復 継承			
<b>【小テーマ③】 持続可能な開発のための教育(ESD)</b>			1. 5H	(担当講師:中澤 静男)
講習形態	講義形式			
講習内容	2015年9月に国連において2030年までの目標として「持続可能な開発目標」が採択され、世界中で持続可能な開発のための教育(ESD)が推進されている。我が国においても新学習指導要領にESDの理念が反映され、ますますその必要性は高まっている。本講義では、地球的諸課題やESDの基本について概説する。			
到達目標・確認指標	地球的諸課題やESDの学習内容や学習方法を理解する。			
キーワード	地球的諸課題、持続可能な開発目標			
<b>【小テーマ④】 世界遺産教育とその可能性</b>			1. 5H	(担当講師:田淵 五十生)
講習形態	講義形式			
講習内容	誰もが「遺そう！」と声を上げた時に「世界遺産」の概念が生まれた。世界遺産教育を三つにカテゴライズして、世界遺産の概念を整理すると共に、具体的な実践事例を紹介したい。一つは、世界遺産についての教育(Education on World Heritage)、二つは、世界遺産のための教育(Education for World Heritage)、三つは世界遺産を通しての教育(Education through World Heritage)である。			
到達目標・確認指標	世界遺産教育の概念が理解できる、世界遺産の教材化のスキルが習得できる。			
キーワード	世界遺産教育の概念 世界遺産についての教育 世界遺産のための教育 世界遺産を通しての教育			
試験方法	坂井、西山、中澤、田淵:講義終了前10分間の筆記試験			
成績評価の方法・基準等	各講義内容を理解して、自分なりに消化され、それに対して教育的な考察が加えられているか否かについて問います。 各小テーマで25点、合計100点中60点以上を合格とする。			